

19日(木)、名張市人権男女共同参画推進室を講師に迎え、出前講座「多文化共生のまちづくり」が開催されました。講座では、男女・年齢・国籍を問わず、誰もが自分の力を発揮できる社会について参加者とともに考えを深めました。

講師からは、一人ひとりの可能性を生かす環境づくりや、少子化・人口減少が進む中で多様な人々が支え合う地域の重要性が示されました。また、外国人受け入れ政策にも触れながら、多文化共生の実践は生活を支える“現場”にこそあるという視点が紹介され、行政だけでなく地域住民の理解と協力の必要性が共有されました。

参加者は熱心に耳を傾け、日常の中での小さな気づきや地域でできることを考える時間となり、多様性を尊重し合うまちづくりへの意識を新たにす講座となりました。




## つながいが命を守る 講座をきっかけに保護猫の家族が誕生


先日、一般社団法人動物愛護団体「わんらぶ」による講座が行われ、多頭飼育崩壊の背景には飼い主自身が支援を必要とする状況があることや、動物の問題は地域のつながりの問題でもあることが紹介されました。講座を通して、動物と人の両方を支える地域づくりの大切さが共有されました。

この学びをきっかけに、蔵持地区の長田さんが保護猫を新たな家族として迎え入れました。今回迎えられた猫は能登半島地震で被災し、住む場所を失ったところを保護された子です。厳しい状況を乗り越えて地域にたどり着いた命であり、その背景を理解したうえで長田さんが手を差し伸べました。

また、この猫は猫白血病 (FeLV) のキャリアでもあります。「白血病」という言葉だけが独り歩きし不安を感じる方もいますが、キャリアであること自体が日常生活に大きな支障をもたらすわけではありません。

新しくそして温かい環境で少しずつ安心した表情を見せ始めているこの猫と、長田さんご夫婦の新しい日々が、これからも温かく、笑顔のあふれる時間となっていくますように 



【一般社団法人】  
動物保護団体わんらぶ  
ブログ 



### 猫白血病キャリアとは？

- FeLV(猫白血病ウイルス)を体内に持っている状態のこと
- 人間や犬には感染しない
- 他の猫への感染の可能性はあるため、単独飼育やキャリア同士の飼育であれば問題なく暮らせる
- ストレスの少ない環境で過ごすことで、健康を保ちながら長く生活する猫が多い。

◎2026年度の出前講座第1回は6/18(木)の予定です。皆さまのお越しをお待ちしております。